

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年9月3日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	熊取町役場	代表者名	藤原 敏司		
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	072-452-9016		
担当者役職	主事	担当者氏名	堀野 涼子	連絡先E-mail	
住所	590-0495 大阪府熊取町1丁目1番1号				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	坂下 知司
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本町が作成したスマートシティにおける構想・取組内容・概要版について事前に送付したところ、細部まで目を通していた。そのうえ、それらに対するコメントとアドバイスを派遣日までに送り返していただいた。そのおかげで、当日はより一層充実した議論ができた点。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年9月1日	13時00分	14時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) キャッシュレス化を地域内店舗に進める上での通信環境や導入機器への費用助成、決済サービス事業者や地域内店舗との議論の進め方、行政手続電子化による職員の労力の増大・事務量の増加、庁内における進捗管理など。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	出来るだけ早く、事業化に向けて実務の課題を洗い出すとともに、電子化・キャッシュレス化を進めていく上での自治体側の障壁、課題、取組方法等をアドバイスいただく。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	熊取町スマートシティ構想に係る行政DX分野、まちのキャッシュレス分野、教育分野、スマートモビリティ分野について。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・「概要版」における行政DXについて、住民サービスと内部管理業務を区分している点が良い。 ・PayPay、LINEPayでの公共料金の支払いが可能となっている。 ・マイナポイントをきっかけに、税や手数料の支払いのキャッシュレス化を始めることができればよい。 ・利用者視点による先端技術の導入でないと、淘汰されてしまう。 ・教育における「1人1台端末」の導入について、学校側の抵抗は予想されるが機種を統一することは避けるべき。一斉に更新時期を迎え、一度に多額の投資が必要となるリスクがあるため。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	なし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	熊取町が今後もまちの活力を維持し続けるため、先端技術による利便性の向上を住民が実感でき、住み続けたい、いつか住みたいと憧れをもってもらえるまちづくりを進める。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

